

体細胞クローン家畜由来食品に関する説明会の概要

厚生労働省食品安全部

○ 開催日

平成 20 年 5 月 19 日（月） 13:00 ～ 16:00 於 星陵会館（東京）

平成 20 年 5 月 23 日（金） 13:00 ～ 16:00 於 天満研修センター（大阪）

○ 参加者（関係者を除く）

東京会場 149 名（一般 100 名 行政関係者 29 名、メディア関係者 20 名）

大阪会場 141 名（一般 97 名 行政関係者 33 名、メディア関係者 11 名）

○ 説明会の概要

第一部 体細胞クローン家畜に関する我が国及び諸外国の状況について

- ・ 体細胞クローン技術を用いた家畜に由来する食品について

厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課新開発食品保健対策室
バイオ食品専門官 鈴木 章記

- ・ 我が国における体細胞クローン家畜の研究開発の現状について

(独)農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所
高度繁殖技術研究チーム上席研究員 渡邊 伸也

- ・ クローン牛の食品としての安全性の研究

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 熊谷 進

第二部 意見交換

○ 主な意見等

1. クローン技術に関する事項

- ・ クローン技術の目的は何か
- ・ 死産、生後直死、病死が多いのはなぜか
- ・ 後代に影響はないのか
- ・ 流死産が多い原因として、ミトコンドリアの影響があるのではないか
- ・ クローンに問題があるという外国のデータも検討するのか
- ・ 成長した牛についてだけではなく、死亡した牛についても原因の検討が必要ではないか
- ・ ドリーでは老化が早いとの情報があるのではないか

等

2. 食品安全委員会への諮問に関する事項

- ・ 外国や企業からの要請で諮問したのか
- ・ どのような方針で検討していくのか

等

3. その他

- ・ クローンの識別ができるようにするのか
- ・ 表示は義務づけて欲しい
- ・ 長期的に考えると不安は払拭できない
- ・ 市場にはでていないのか

等